

熊野古道紀伊路第5弾（布施屋・川端王子～海南・祓戸王子）

山行日：2020年11月9日（月）晴れ

メンバー：do-yan（ここゆめ）

コース：布施屋駅 8:00→8:10 川端王子→8:43 旧中筋家住宅→8:51 和佐王子→9:00 矢田峠
（30分くらい山の中を散策）→10:05 平緒王子→10:29 伊太祁曾神社→10:44 六地藏尊
→10:55 奈久智王子社跡→11:28 四ツ石地藏→11:45 松坂王子跡→12:00 汐見峠
→12:35 春日神社→12:47 松代王子跡→13:04 菩提房王子跡→13:17 熊野一の鳥居跡
→13:21 祓戸王子跡→13:43 海南駅

今年も残りあと2ヶ月となった11月9日熊野古道紀伊路第5弾を歩いてきました、今年中にはどこまで進めるかな。

（写真①）



★第4弾終了地点の布施屋駅から出発（写真①）
電車の中では平日の朝のため通勤、通学の客の中で一人浮いた存在になっていました

布施屋駅から10分ほど歩けば川端王子（写真②）に到着（川端王子は中世の参詣記には登場しません、当時はこの王子社は無かったようで江戸時代初頭に二社の和佐王子社があって1社をこの地に移したということです）

（写真②）



★この地区は熊野古道を大事に保存しようとしているのがよくわかります
街道筋にはいくつもの案内板があり古道歩きをするのに道迷いがほとんどありません

(写真③)



川端王子から 30 分くらい歩くと

★旧中筋家住宅（写真③）に到着

熊野古道に面してあるこの建物は江戸時代の和佐組大庄屋の屋敷で紀の川流域随一の大規模民家で 国の重要文化財にも指定されています 戦後、楫本氏の所有となって維持管理されてきましたが管理は和歌山市が行い、一般公開もされています、右に見えているのが住宅の一角です

(写真④)



県道に出て右に曲がれば和佐王子跡（写真④）

★和佐王子

この王子は明治時代の神社合祀で高積神社に合祀され今は石碑のみが残されています

ここから県道を横断して矢田峠を越える山道に入ります
県道を歩いていけばすぐに峠を越えられるのですが・・・

(写真⑤)



山道の矢田峠を越えて来て（写真⑤）右に下れば
県道に出て行きます
県道に出て県道を横断右に曲がるべきところを左
に曲がってしまい山の中を散策 30 分またこの地
に戻ってきました

(写真⑥)



矢田峠を越えて 20 分歩くと平緒王子に着きました

★平緒王子（平尾王子）（写真⑥）

この王子社は秀吉の紀州攻めで衰退したといわれ、その後再興されて平緒王子社と呼ばれていましたが明治時代に都麻津比売神社に合祀されました

熊野古道の道標 道路に埋め込まれています
これを辿れば間違いはないのですが
全ての道にあるわけではないのです



「導き石」

(写真⑦)



熊野古道を少し外れて伊太祁曽神社にお参りに

★伊太祁曽神社（写真⑦）

木の神様をお祭りしています

御朱印を賜りたかったのですが宮司さんはお務め中のため 20 分待ち御朱印は次の機会に

(写真⑧)

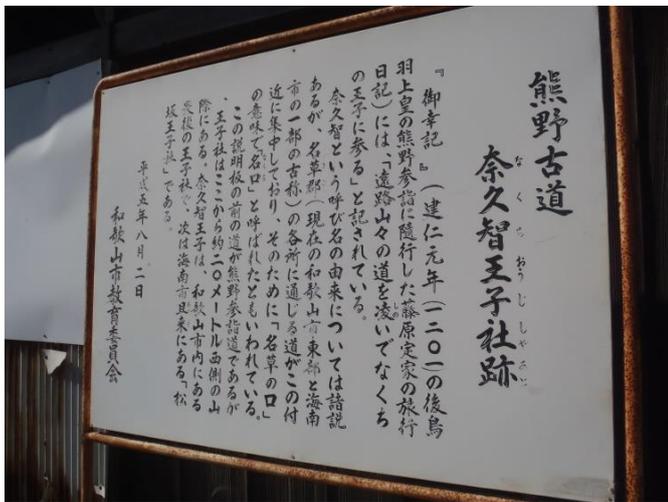


古道に戻り 15 分で六地藏尊に到着

★六地藏尊（写真⑧）

旅の安全をお祈りしました

(写真⑨)



六地藏尊から 10 分ほどで奈久智王子社跡
(写真⑨) に着きました

★奈久智王子

案内板には奈久智という呼び名についての由来
が書いてあります

名草郡の各所に通じる道がこの付近に集中して
おり、そのために「名草の口」の意味で「名口」
と呼ばれていたともいわれている

(写真⑩)



ここから 30 分ほど歩くと四ツ石地蔵に着きま
す

三上院千光寺の礎石を集めて祀ったのがこの
★四ツ石地蔵 (写真⑩)

両脇に二つずつの平たい石が置いてあります

四ツ石地蔵の前を通り 30 分歩くと県道に合流
します、そこには松坂王子跡の案内板があります

(写真⑪)



★松坂王子跡 (写真⑪)

松坂王子は熊野参詣道に沿って設けられた九
十九王子の一つで古くから熊野詣の人々が遙拝
し、休憩した社跡です、現在王子跡は且来八幡
神社に合祀されています

県道を少し進み左に下ると古道の石畳のなご
りが残っています (写真⑫)

今回の紀伊路で出会った初めての石畳ではないかと思ます

(写真⑫)



県道に戻り、汐見峠を越えて、春日神社前に
さすが亀ノ川と云うだけあります

前の川を覗くと大きな鯉とたくさんの亀



春日神社にお参りをして近くの松代王子跡を訪ねます

(写真⑬)



★松代王子跡 (写真⑬)

祠の中にある石碑が社跡
もともとは春日山の西の麓、古道沿いの民家の
屋敷内にあったものが現在地に移されたといわれ
ています

(写真⑭)



松代王子跡から歩くこと 15 分で菩提房王子跡に到着

★菩提房王子跡 (写真⑭)

案内板の字が消えかけていて読めません

ここから 15 分歩き日限地藏院前を抜けると熊野一の鳥居跡に着きました

(写真⑮)



★熊野一の鳥居跡 (写真⑮)

地名の鳥居の由来でもある熊野一の鳥居があったことが紀伊続風土記に記されている

また藤白神社の二の鳥居の傍らに熊野一の鳥居と刻まれた石碑も残っているというので次回の第 6 弾で藤白神社に詣でたときに確認したい

鳥居のすぐそばに祓戸王子 (鳥居王子) があり、

そこで垢離 (こり) を取り心身を清め、熊野聖域へと入って行ったのでた

(写真⑯)



★祓戸王子跡 (写真⑯)

今回の熊野古道紀伊路第 5 弾はここまで

次回はここから藤白坂・拝ノ峠と二つの峠を越えるルート、古道最初の難所に向かいます